

8-1 視力障害（しりょくしょうがい）

- ◇白内障—加齢により本来透明なはずの水晶体に濁りが生じて、網膜に鮮明な像が描けなくなる疾患。治療により視力を取り戻すことができる。
- ◇緑内障—眼球内の房水という液体の循環不全で眼圧が上昇すること等により正常に機能する視神経が減少する病気。一度失われた視神経は二度と元に戻らない。
- ◇加齢黄斑変性—網膜の中心にある黄斑が加齢により変性し視力が低下してくる病気。患者のほとんどは60歳以上で、女性より男性に多い。

主な症状	<p>白内障</p> <ul style="list-style-type: none"> ● まぶしい。目がかすむ。明るい所で見えにくい。近視が進む。 <p>緑内障</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 急性型は初期には視野が狭くなり、眼痛や頭痛を伴うことがある。 ● 慢性型は症状を自覚しにくい。視野の一部に見えない所ができて、両目で見ているため互いの視野でカバーされ気づきにくい。 ● 放置していると少しずつ進行し、最悪の場合は失明に至る。 <p>加齢黄斑変性</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 視野の中央がよく見えない。ゆがむ。暗く見える。
------	--

生活上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ● 視野狭窄のため、調理された物が視界に入っておらず、食べていない可能性もあるので、その場合はお皿を視界内に入るよう移動する。 ● どちらかに傾いて歩く場合は傾く側に立ち、転倒しないように介助する。
---------	--

ケアマネジメントのポイント	<p>〈支援者の留意点・視点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日常生活において、視力障害のために困難になっている動作や、転倒、怪我の可能性を考慮し、環境を整えたり、介助の必要なポイントを介護者間で共有する。 ● 参加できるレクリエーションやコミュニケーションを工夫する。 ● 不安にならないよう、周りの状況を定期的に伝える。 ● 食事はいつも同じ場所に主食・副菜・お茶を置くようにする。（クロックポジションの利用＝12時の位置におかず、9時の位置にご飯など） <p>〈活用できる福祉サービス等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日常生活用具費の支給（障害者福祉施策）で視覚障害者用ポータブルレコーダー・活字読み上げ装置・拡大読書器・音声時計等がある。補装具の支給。 ● 問合せ先：区役所保健福祉部
---------------	---

代表的な薬	<p>視野狭窄症</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 血管増強薬（アドナなど） ● 末梢循環障害改善薬（カルナクリンなど） ● ビタミンB12製剤（メチコバルなど） <p>【点眼薬】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 白内障治療薬（カリーユニなど） ● 緑内障治療薬（キサラタン、チモプトール、エイゾプトなど）
-------	--